



スターウォッチングin大和村

奄美少年自然の家による「スターウォッチングin大和村」が下記のとおり開催されます。多くの参加者をお待ちしております。

記
日時 令和5年12月9日(土曜日)
午後7時～午後8時まで
※受付 午後6時45分～
場所 大和村防災センター
※雨天時も同センター
対象 どなたでも(中学生以下は保護者同伴) 当日受付となります。
準備品 必要に応じてレジャーシートやクッション、双眼鏡や望遠鏡等
問い合わせ先 奄美自然の家(電話 53-1032)

連絡事項 活動中の写真を広報に使用することがあります。中止や日程変更になる場合、当日午後5時までに奄美少年自然の家Instagram等にて告知いたします。

ホームページへ



Instagram



KAGOMASYO



公民館長からのお知らせ

【本のリサイクル】

廃棄することになった図書から厳選して「本のリサイクル」を始めることにしました。防災センターの公民館側の入口近くのギャラリーに並べておきます。希望される本がありましたらご自由にお持ち帰りください。開始は12月1日からで、約1ヶ月ほどで図書の入れ替えを行いたいと考えております。

防災センター並びに図書室への村民の多くのご来場をお待ちしております。



昭二兄よの四方山話 (よもやまばなし)

刀禰屋(トネヤ)

私たち奄美の祭祀に欠かせないトネヤについて考えてみたいと思います。大和村は各集落に1戸は存在し、祭りの中心的な役割をしています。(今里集落は古い時代には4か所のトネヤ存在)資料によるとトネヤのグジカミは集落の長として祭りや政事の大元締めであり、ノ口神の始まる以前から存在する集落における氏神社として存在していたと考えられているとあります。以前は世襲で自宅をトネヤとして祭祀を実施していましたが諸事情により、現在は役場の援助で新しい集落の祭祀所としてトネヤが存在している集落もあります。集落のグジカミとして先祖から引き継いだトネヤ家族の苦労や責任は大きいものがあつたことと思います。私たちは永い年月集落の守り神として、また集落民の無病息災を祈願し、見守り続けたトネヤへの感謝を忘れることなく集落行事を継承しなくてはなりません。集落の最大行事である豊年祭の一日のトネヤ主人の仕事を紹介いたします。

例(津名久トネヤ)

前日に自宅トネヤ祭壇に準備するもの・・左右に山榊、ろうそく、酒、早朝に山神から汲んできた水、小鉢に米、塩、中央に大皿に盛った野菜、線香立て、祭壇下に準備するもの・・さんごん膳、鮭とつくり、おちょこ、大皿に塩、こんぶ、サキイカ
豊年祭当日、早朝に集落の区長、長老、役員がトネヤへ集まる。陽が昇ると全員でアガレ(東)へ向かいろうそく、線香に火をつけて次のことを集落守り神へ祈願します。集落の五穀豊穰祈願、無災、無病、長寿、子孫繁栄、家内安全、村民平和。祈願を終えたらトネヤグジカミへの慰労をかねたお祝いをし、午後からの力士到着の準備に入ります。力士が神水取りを終えてトネヤへ来るとグジカミは力士たちと祭祀を行う。お神酒を与えトネヤ前での奉納相撲が終わり力士が帰るとグジカミの祭祀は終了する。トネヤグジカミは祭りの時だけでなく日々の暮らしの中でも朝は集落の祈願、先祖を尊ぶという精神で目には見えないが集落民の心の安心感を与えているのがトネヤだと思えます。

参考資料(昇 曙夢、大奄美史・郁島敏則氏、津名久トネヤ覚書)